

令和2年度 学校自己評価表 (計画段階・実施段階)

学校番号

64

別紙様式(B 4 横型)

福岡県立明善高等学校長 印  
全日制課程

学校運営計画 (4月)			評価 (総合)	
学校運営方針	本校の教育の目的は「知力を以て社会に寄与する人材を育成する」ことにある。この目的を達成するため、「高い志」「豊かな人間性」「確かな学力」を高める主体的な学びを通して、確かな価値観に立脚したグローバルリーダーを育成する。			
昨年度の成果と課題	今年度重点目標	具体的目標		
SSH事業第2期3年次、普通科では学校設定教科「STL総合」の科目「STL探究I」・「STL探究II」・「STL探究III」において課題研究を全学年で取り組ませた。学校全体で取り組むことで、前年度と比較して課題研究に対する意欲の向上が見られ一定の成果があった。指導方法を含め、さらなる指導体制の確立に努めたい。 本年度は、特に、「STL総合」における評価方法を改善し、課題研究の質の向上を図りたい。また、地元企業や大学等も含めた地域との連携を図り、探究的な活動の質の深化を図りたい。 新学習指導要領に向けて教育課程の編成及び観点別評価について検討を重ね丁寧な作成していく。 昨年度に引き続き、「学ばせ方」を研究し、公開授業をとおして授業の質の向上と、教育活動全体をとおして、リーダーに求められる資質・能力を高めさせ、明るくタフな明善生の育成に努める。	学びの成果を活用させるとともに、社会貢献につながる「高い志」の育成に務め、主体的に課題を発見し、自立的に解決できるよう、質の高いキャリア教育を推進する。 深い学びに導くことのできる質の高い授業の創造を目指し、ICT機器を活用した教科マネジメントの充実を図り、「確かな学力」の育成に資する。	○職業観育成講座や大学セミナー、献血などのあらゆる機会を通して、生徒の「高い志」の育成に務め、自らの進路を切り拓くことのできる積極的な生徒を育成する。		
	学校への帰属意識を高め、自他を認め高め合う共感的な人間関係や、人権尊重の精神・自律心・思いやりの心を育て、いじめ撲滅に資するとともに「豊かな人間性」を養う。	○電子黒板等を活用した教科マネジメント力の強化と教科指導の系統性の確立を図り、生徒の学力向上に繋げる。 ○Wi-Fiを有効活用し効率的な授業展開を図るとともに、オンライン学習を促進し、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業を実践する。		
	SSH事業を充実させるとともに、海外修学旅行、総文コース米国海外研修、アカデミックサイエンスプログラム海外研修等、国際交流の機会をとおして、グローバルリーダーの育成を図る。	○清掃活動やボランティア活動を通して望ましい勤労観や職業観を育成する。 ○学校行事等とおして状況把握・判断・対応する能力、良質なコミュニケーション能力を育成する。 ○教育相談や面談等、全ての教育活動の中で望ましい人間関係力を育て学校への帰属意識を高める。		
	地域と連携し、探究的な活動等ができる体制を構築するとともに、ホームページ等の広報活動を充実させ、地域社会から信頼される開かれた学校を目指す。	○「STL総合」を全学年で行う指導体制を確立し、生徒の意欲向上につなげ、課題研究を発展させる。 ○専門家や同窓生による支援体制を構築することにより、後進への指導を意欲的に行う人材を育成する。		
		○生徒及び保護者のニーズに応える教育実践で、より満足度の高い学校を目指す。 ○学校行事をとおして生徒の不断の努力やリーダー性を、公開授業をとおして教員の高い授業力などを積極的に発信し、信頼される明善高校を作り上げる。		
	具体的目標	具体的方策	評価(3月)	次年度の主な課題
教務	時間割管理・成績処理業務、入試業務等を正確かつ円滑に行う。	複数人体制で業務をスムーズに行い、働き方改革に資する。 保健室・学年と連絡を密にとり、生徒の状況を早期かつ的確に把握する。 統合型校務支援システムを適切に利用して出欠管理等ができるように調整を行う。		
	確かな学力の育成のため、全教員で授業改善を行うとともに、教育課程や観点別評価について検討を行う。	授業アンケート(2回)・学習時間調査等の分析により、指導法の改善に努める。 各教科と連携し、本校に相応しい教育課程を編成する。 各教科と連携し、観点別評価の導入法について検討する。		
庶務	早めに計画・立案することで、事前準備を徹底し、式典や各種行事を円滑に実施する。	式典係、保健体育科、学年、各分掌、事務室と連携を密にする。 保護者会・同窓会と連携し、各種行事を実施する。 行事毎に記録を残し、改善点を明確にして次につなげる。		
	本校の教育活動を積極的かつ迅速に発信することで、中学校や地域社会の理解を深める。	学校案内・広報紙の内容を充実させると同時に早めの完成を目指す。 新HPの適切な運用・管理を行う。 他の分掌を連携して、中学生進路相談事業、体験入学を成功させる。		
広報情報	教育機器の適正な管理と運用を行う。	各種機器を適正に管理し、使用方法に関する研修会を実施する。		
	SSH(スーパーサイエンスハイスクール事業)	SSH事業の目的を全職員で共有し、全校体制で運営と指導に当たる。 全生徒が取り組む課題研究の在り方や評価方法を継続して検討する。 HPを有効に活用し、研究開発の成果を広く発信する。 校外研修について、よりその効果が表れるよう内容を改善し実施する。 科学系部活動や理数科の研究内容がより高度化するような指導体制を構築する。 探究活動の成果が主体性等評価に表れ、総合型選抜や学校推薦型選抜に対応できるように指導を行う。		
理数科	理数科行事の充実・活性化及び継続を図るとともに、課題研究を中心とするSSH活動を通して生徒の探究心を引き出す。	1年時の校外研修の内容を充実させ、進路意識の向上や進学意欲の向上を図る。 難関大学のオープンキャンパスへの参加を促し、進路意識を高める。 課題研究の最後の発表の場を外部にすることで、取り組みへのモチベーションを向上させ、探究心、問題解決能力の伸長を促す。		
	理数科の学年間の繋がりを強化する。外部への効果的、定期的な広報活動を実施する。	1,2年生のオリエンテーションにとどまらず、学年間の交流の場を設け、理数科の連携を図る。 中学生に向けての事業(体験入学、進路相談事業)を効果的に活用する。 理数科案内、理数科通信、HPを効果的に活用し、定期的に情報発信する。		

**【評価基準】**  
A:十分達成できた  
B:概ね達成できた  
C:あまり達成できなかった  
D:まったく達成できなかった

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)	次年度の主な課題
総合文科 コース	総合文科コース生としての志の育成と難関大進学への意識・意欲の向上	総文オリエンテーションの実施により、総文生としての自覚をもつことができるようにする。		
		オープンキャンパス参加や教科からの働きかけを通して難関大学志望者を育てる仕組みを構築する。		
	31年度に実施できなかった総文先輩講話について、設定する。			
	国外・国内情勢を反映させた出前講義が実施できるよう、担当者で連携し、計画的に実施する。			
生徒指導	豊かな人間性と社会性を身につけ、主体的に行動し、社会に貢献できる生徒の育成する。	出前講義・校外研修後のアンケートや感想の実施・分析を行い、次年度の内容に反映させる。		
		H Pや広報誌を活用して、各学年の生徒がどのような活動を行い、どのような活躍をしているのかを周知する。		
	生徒会活動をさらに活性化させ、学校行事や校外活動の充実を図る。			
	ボランティアや社会活動に積極的に参加させ、社会貢献の意識を高揚させる。			
保 健	生徒の心身の健康状態を把握し、健康管理・健康教育を充実させる。	成年年齢引き下げを見据え、社会人としての自覚と責任感を持たせるよう指導する。		
		外部講師による講演会を開催し、スマートフォンやSNSの正しい使用を促す。		
	社会規範を守らせるとともに、いじめ撲滅のための判断力や実践力を身に付けさせ、自他の生命を尊重する態度を養う。	交通ルールを遵守させるとともに、日常生活におけるマナー教育を徹底する。		
	部活動を充実させ、全国大会・九州大会に出場する部を増やす。			
進路指導	生徒の心身の健康状態を把握し、健康管理・健康教育を充実させる。	健康診断・身体計測の結果をもとに助言を行い、生徒の自己管理能力を育成する。		
		心の相談等専門医や学校医と連携し、生徒を支援するとともに、情報の共有を図る。		
	5S「整理・整頓・清掃・清潔・躰」を強化し、自主的に清掃活動に取り組む生徒の育成を目指す。	教育相談委員会や学年会の充実を図り、生徒の支援に努める。		
	学期に1回の美化週間の内容を見直し、充実を図る。			
図書・研修	キャリア教育と学年に応じた進路指導を充実させ、進路意識の高揚と確かな学力の養成をめざす。	期末考査最終日に有志を募り「掃除の会」を結成し、校内大掃除を実施する。		
		ゴミの分別や、部活動でのゴミ出し日の設定を徹底する。		
	模試・課外・講座等を有効利用し、進路目標達成に向けての取り組みを充実させる。	HR活動・探究の時間をSSHと連携しながら有効活用し、計画的な進路指導を行う。		
		大学セミナー・職業観育成講座等を通じて、主体的に生きる態度を養う。		
第1学年	基本的な生活習慣を確立させる。主体的な学習習慣を育成する。	小論文・弁論大会などの取組を通して、言語活動の充実を図り、表現力・コミュニケーション能力を身につけさせる。		
		学年・教科・部活動との連携を密にし、学習意欲を向上させ主体的に学習に取り組む態度を養う。		
	図書委員会活動を活性化させ、生徒の読書意欲を喚起し、増進させる。図書館の利用の充実を目指す。	新課程の実施に向け、課外・講座・土曜教室・特別課外等の運営について評価・改善を重ねる。		
		模試分析会・志望校検討会等を充実させ、各学年の課題、指導方針について全職員で情報を共有する。		
第2学年	職員研修や課題研究を通して、教科専門性や指導力の向上を図るとともに、人権教育の更なる充実を図る。	他の分掌と連携した授業研修、課題研究を推進し教科指導力の向上を図る。		
		有益・実際の・課題解決に役立つ職員研修を計画し、効率的に実施する。		
	規範意識の育成および学習習慣と進路意識の確立	生徒の実態に応じた人権教育を充実させるとともに教職員の意識および指導力の向上を図る。		
		時間厳守、掃除、端正な服装、元気な挨拶等ができるように育成する。		
第3学年	自立した生活習慣・学習習慣の確立と、困難に挑戦する態度を育成する。また学校行事・部活動等に主体的に取り組ませて、リーダーシップなどを身につけさせる。	予習や復習を習慣付けさせ、計画的に学習ができるように指導する。		
		将来の自分の目標を確立させ、変わりゆく大学入試にも対応できる能力を養う。		
	進路意識の高揚と目標達成のための学力を育成する。	部活動へ積極的に参加するように勧める。加入率85%を目指す。		
		学校行事へ主体的、積極的に参加する態度を育成する。		
総合文科 コース	総合文科コース生としての志の育成と難関大進学への意識・意欲の向上	様々な場面でリーダーシップ、フォロワーシップを育成し、協調性を養う。		
		基本的な生活習慣を確立させる。また計画的な家庭学習を行わせる。		
	部活動や学校行事への積極的・主体的参加	進路意識高揚の取組を行い、課外等の受講率を上昇させ、基礎学力を育成する。		
		大学入学共通テストや総合型選抜・学校推薦型選抜に向けての指導を充実させる。		
第1学年	基本的な生活習慣を確立させる。主体的な学習習慣を育成する。	部活動へ積極的に参加させ心身に鍛える。		
		様々な学校行事において、リーダーの育成に努める。		
	自立した生活習慣・学習習慣の確立と、困難に挑戦する態度を育成する。また学校行事・部活動等に主体的に取り組ませて、リーダーシップなどを身につけさせる。	修学旅行が、多様な価値観の形成や志の育成の機会となるように指導する。		
		基本的な生活習慣の確立と計画的な家庭学習を行わせる。		
第2学年	規範意識の育成および学習習慣と進路意識の確立	受験や学校行事を通して人格を陶冶し、最上級生として下級生をリードできる生徒を育成する。		
		学校行事や部活動に主体的に取り組ませる。		
	部活動や学校行事への積極的・主体的参加	進路意識高揚の取組を行い、課外等の受講率を上昇させ、基礎学力を育成する。		
		総合型選抜・学校推薦型選抜の増加や大学入試共通テストに対応する指導を組織的に行う。		
第3学年	自立した生活習慣・学習習慣の確立と、困難に挑戦する態度を育成する。また学校行事・部活動等に主体的に取り組ませて、リーダーシップなどを身につけさせる。	難関大志望者を増加させ、あきらめさせない指導を行う。		
		進路意識高揚の取組を行い、課外等の受講率を上昇させ、基礎学力を育成する。		
	部活動や学校行事への積極的・主体的参加	総合型選抜・学校推薦型選抜の増加や大学入試共通テストに対応する指導を組織的に行う。		
		難関大志望者を増加させ、あきらめさせない指導を行う。		